

(特非) パルシック

パレスチナ西岸地区北アシーラにおける 循環型社会のモデル形成事業

活動地域  パレスチナ



拡張された堆肥舎で生ゴミ堆肥づくりを継続

課題

日常的なゴミ投棄が行われている地域において、ゴミ分別を通して環境意識を醸成し、有機ゴミを用いた堆肥づくりと有機農業、リサイクルを促進させ、循環型社会を形成する。

目標

パレスチナ西岸地域でゴミの分別による廃棄物の資源化が促進され、地域循環型社会が形成される。



今後の
展望

- 堆肥の品質向上と資材コストの削減
- 住民、行政を巻き込んだ仕組みづくりの強化
- 生ゴミ堆肥化に続く、経済合理性が確保し得るリサイクル方法の模索

フロントランナー助成

2年目

実践

活動内容と成果

- 生ゴミ堆肥の製造に続き、紙ゴミの燃料化実験に着手した
- オンラインでのゴミ分別ワークショップや、Facebookでの事業協力者インタビューの連載を始め、地域住民を巻き込んだ活動を目指した
- 温室1基が稼働し、西岸地区内で製造されている3種の堆肥を、キュウリやイチゴ等の苗を育てることで比較し、品質向上のため、実験から得た課題点を堆肥づくりにいかした
- 堆肥舎で28tの有機堆肥を製造した
- 地域農家からの堆肥資材の無償提供や、事業費の一部を行政が負担することにより、事業の独立性を図った



温室での堆肥比較実験に農家を招聘

生ゴミ堆肥の製造 **28 t**

北アシーラの年間生ゴミ
排出削減率 **1.83%**

今年度計画の達成度 **93%**

目標達成度 **42%**

苦勞した点と工夫した点

●苦勞した点

分別種類や方法が複雑で分かりにくいとの声が多く上がり、異物の混入率もなかなか改善されなかった。

●工夫した点

回収ゴミの種類を特定し、ゴミ箱に貼るステッカーのデザイン変更やプロモーションビデオの作成で、分かりやすい分別を目指した。

〒101-0063
東京都千代田区神田淡路町
1-7-11東洋ビル
電話：03-3253-8990
E-mail：office@parcic.org
HP：http://www.parcic.org

